



2023年  
(令和5年) 第38号

# 農業委員会だより

発行所:牛久市農業委員会 住所:牛久市中央3-15-1 電話:029-873-2111(代)

再生紙を使用しています



女化町で農業を営む阿部和也さん（農家訪問：3ページ）

## \*\*\*\*\* 主な内容 \*\*\*\*\*

会長挨拶.....	2
委員改選について	
農業者年金について	
農家訪問.....	3
女性農業委員だより	
推進大会に参加	
お知らせ.....	4



うしく河童大根のカニカマあんかけ  
(撮影：稲敷地域農業改良普及センター)

会長あいさつ



牛久市農業委員会  
会長 山越 康義

寒冷の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より農業委員会の活動に對しまして、格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

相も変わらず、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況が続く中、追い打ちをかけるようにウクライナ情勢を起因とする原油価格の高騰、それに伴う資材や肥料、飼料などの高騰により農業経営が圧迫されております。今秋には円が急騰し、日用品や食料品が軒並値上げされ、家庭への影響も深刻です。農業分野にも、時代の変化に對応するべく新たな変革が求められる時代となっております。

今こそ国内農業の生産基盤を強化すべく、牛久市農業委員会は、担い手の育成と確保、農地の集積・集約化の加速化、農地の有効利用や適切な維持管理に一層取り組んでいく所存でございます。

今後とも皆さまのご支援、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

地域農業を守り育てる農業委員・推進委員の候補者を募集します

牛久市農業委員会は、「農業委員」と「農地利用最適化推進委員」について、応募または推薦により委員の候補者を募ります。任期は令和5年7月20日からの3年間で、身分は特別職の地方公務員です。農業委員の選出方法は市長の選任制、農地利用最適化推進委員は農業委員会からの委嘱となります。募集については詳細が決定次第、広報うしくや市ホームページでお知らせします。

地域の農地を活かし担い手を応援する農業委員会  
女性の「活躍」が求められています！

「農地法等に基づく法令業務」と「農地利用最適化の推進」及び農業者の意見反映のための活動を行っています

- ①農地の有効利用 ～農地を守り、活かすための取り組み～
- ②担い手の育成 ～自立する農業経営者の支援の取り組み～
- ③行政機関等への意見の提出 ～農業者や地域の声をくみ上げ、実現する取り組み～
- ④地域に根ざした活動 ～食と農の国民理解、地産地消の取り組み～
- ⑤農業に関する情報提供 ～農業者の経営と暮らしを応援する情報提供の取り組み～

農業者年金で老後の生活を安心サポート

積立方式の確定拠出型年金で、少子高齢時代に強い年金です。終身年金なので生涯受給できます。支払った保険料全額が社会保険料控除の対象になり、所得税・住民税等の節税にもなります。



3つの要件を満たせばどなたでも加入できます

- ①60歳未満（国民年金任意加入者で年間60日以上農業に従事している方は65歳未満）
- ②国民年金第1号被保険者（保険料免除者は除く）
- ③年間60日以上農業に従事

※加入の申込、お問い合わせは、最寄りのJAまたは農業委員会へ

# 農家訪問

女化町の阿部和也さんの大根畑を訪ねました。ご両親と、ご祖父様、奥様、お子様三人の計八人の大家族です。取材にお伺いした十一月は、地域ブランドである「うしく河童大根」の収穫で大忙しです。阿部さんのお宅では、河童大根のほかにも小玉スイカ、メロン、落花生、トマト、ニンジン、サトイモ、ゴボウなどを栽培しており、作付面積は七ヘクタールにもなります。和也さんは、令和四年二月一日に二十

生まれも育ちも女化町の和也さんは、高校卒業後、調理の専門学校で調理師の免許を取得し、飲食店で勤務していた経験を活かし、レシピ開発にも精力的に取り組んでいます（表紙写真参照：うしく河童大根のカニカマあんかけ）。

まだ三十代前半の和也さん、これからもさわやかな笑顔で、美味しい大根と美味しいレシピを世に送り出したいです！

四十代の若手生産者十二名（団体を含む）で発足した大根生産部会の青年部に所属し、うしく河童大根のPRにも努めています。青年部ではスーパリーのカスミで直売イベントを開催したり、定期的に集まり、勉強会を行ったりして、美味しい大根の生産や販売方法の研究に余念がありません



# 女性農業委員だより

令和四年十一月九日、「関東ブロック女性農業委員等研修会」が宇都宮市「ホテル東日本宇都宮」にて開催されました。女性農業委員・推進委員ら約三百人が出席し、委員活動を広げるための研修に取り組みしました。

最初に、宇都宮大学西山未真教授により、「持続可能な社会を実現するための女性農業者の役割」をテーマとした講演が行われました。続いて、大田原市女性農業委員グループ「チームあゆみ」が、マスコットキャラクターの与一くん&愛弓さんとともに、女性のための農機具講習会、農業女子のつどいを開催するなど広報活動・情報発信に力を入れ、成果を上げている事例発表を行いました。その後、参加者八人ずつに分かれて意見交換し、研修の成果を話し合いました。いまだに委員同士の交流の機会がほとんどないこのご時世、このような貴重な研修会に参加させていただけたことに感謝申し上げます。

例発表を行いました。その後、参加者八人ずつに分かれて意見交換し、研修の成果を話し合いました。いまだに委員同士の交流の機会がほとんどないこのご時世、このような貴重な研修会に参加させていただけたことに感謝申し上げます。



# 推進大会に参加

十二月十四日にザ・ヒロサワ・シティ会館（水戸）で開催された「地域の農地を活かし持続可能な農業・農村を創る運動推進大会」に、農業委員・農地利用最適化推進委員が参加しました。国は、人・農地プラン（農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの）を法定化し、「地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定める」としています。その中で、十年後に目指すべき農地利用の姿を「目標地図」として作成することになりますが、農業委員はその「目標地図」の素案を作成する役割を担います。今後、アンケートや話し合いにより、

農業者の皆様のご意見をお伺いする機会がございますが、みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。





# お知らせ

## 賃借料情報

田10a当たり	10,000～20,000円
畑10a当たり	3,000～8,000円

## 農業臨時雇標準賃金

田植え／稲刈り／水田除草 ／畑除草／その他作業	7,100円(実働8時間)
----------------------------	---------------

## 農作業受託標準料金

項目 作業名	単位	料金	備考
深耕	10a	10,000円	
プラウ耕	10a	6,000円	
デスク耕	10a	3,500円	パワーデスク
普通ロータリー	10a	5,000円	畑
耕起	10a	5,000円	田
代かき	10a	6,000円	
畦塗り	1m当たり	35円	
育苗	1箱	700円	硬化苗
田植え	10a	6,500円	条件により 料金割増
育苗～田植え	10a	18,000～ 20,000円	
刈取り～脱穀	10a	16,000～ 20,000円	倒伏等の条件に より上限とする
刈取り～調整	10a	30,000～ 35,000円	倒伏等の条件に より上限と する(袋詰め まで)
乾燥～調整	玄米60kg 当たり	1,800円	(袋詰めまで)
籾すり	玄米60kg 当たり	1,000円	(袋詰めまで)
麦刈り～調整	10a	22,000円	倒伏等の条件に より上限と する(袋詰め まで)
甘藷マルチ張り	10a	10,000円	薬剤散布含む
甘藷マルチ張り	10a	5,000円	薬剤散布なし
落花生マルチ張り	10a	4,000円	
肥料と土壌改良 剤の散布	10a	2,500円	資材の運搬は 含まない、 片方だけの散 布は1,500円

## 全国農業新聞

農家の思いを伝え、農業・農村の未来をともに考える「全国農業新聞」。地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙です。農業者の視点でお届けしています。

購読の申込は農業委員へお気軽にご連絡ください。

発行日/毎週金曜日

購読料/月700円(送料・税込)



## 農地を「転用」するときは 農地法の「許可」が必要です

農地を農地以外にすることを「農地転用」といいます。農地を転用する場合には、原則として農地法の転用許可が必要です。一時的な工事や資材置場にする場合も転用となります。

農地に関する相談、許可申請の手続き、違反転用の通報・相談は、農業委員会事務局へ。

## 未来につなぐ『相続登記』

農地を相続したときは、相続登記完了後に農業委員会へその旨を届出することが義務付けられています。お手続きは簡単です。なお、令和6年4月1日より相続登記の申請が義務化されますのでお気を付けください(同封のチラシをご一読ください)。

登記の手続きは法務局へ、農地の相続の届出は農業委員会事務局へ。

## 編集後記

いまだに収束の兆しの見えない新型コロナウイルス感染症…不安を感じつつ農作業に追われる毎日です。

夏秋は今までにない猛暑日が続く、身体にそして作物にと異常を感じる令和四年でした。令和五年こそ、良き年であり、農業者にとって良き作物が収穫できることを願っています。

編集にご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。



編集委員

中山 みつい  
塚崎 光子